

2021年7月26日

【新聞掲載のお知らせ-「日刊工業新聞」(2021年7月14日付)】

2021年7月14日の日刊工業新聞 朝刊 6面にて「SPK新規事業加速 カービューティープロあす買収」の記事が掲載されましたのでお知らせいたします。

記事は [こちら](#) からご覧いただけます。

SPKは、15日にカービューティープロ(東京都田舎区)の買収を完了し、主力の自動車部品卸に加え、新規事業として川下分野へ進出する。SPKでは5月策定の中長期計画でも新規事業を成長戦略の一つに掲げており、外国人整備人材の育成などにも乗り出す考え。「自動車業界は100年に1度の大変革期。我々も相応な覚悟をしないまま残れない」と社長(沖藤一郎)と、新規事業の立ち上げを加速する。

SPK、新規事業加速



カービューティープロあす買収

自動車内外装クリーニング技術を受け継いだ店舗併・買収)案件として持ち込まれたのは4月。国内外の自動車部品の事業を手がける。50店を展開する。同社独自のスクールで、SPKにM&A(合併・買収)のシナジーが得られるとし、わずか3か月で即決した。買収金額は非公表。

カービューティープロはカーディテリング業界では老舗だが、競合と比べ規模は小さい。SPKでは国内で約1000社の自動車部品商と取引があるため、整備工場などの事業拡大に向けたサービスとして展開し、拡大を図る。さらに東南アジアなど海外での事業展開も視野に入れる。

同社では新規事業の展開に向け、1月に社

川下分野に進出

内ではアイデアコンテストを実施した。社員から約60件の応募があり「当初は1件だけ選ぼうと考えていた(同)表彰は約10件に達した。この中に外国人整備人材の育成のほか、EVや電気自動車(EV)関連、eスポーツなどがあり、それらの一部では社内でのプロジェクトを立ち上げた。同社は中計で2024年3月期に売上高550億円、21年3月期は419億円を目標とする。主力の補修部販亦是安定しているが、「成長維持を意識し、会社の競争を目指す」と社長は話す。

本記事は、日刊工業新聞社の転載承認済です。